

ISSN 1345-8620
ISSN 2185-503X



Research Institute for
Economics and Business Administration
Kobe University

研究叢書 89

鐘紡資料叢書

第12卷

社長訓示編

神戸大学経済経営研究所

榎本 正博・國本 光正・加島 美和 編

常任役員会社長指示集（その7） — 後編 —

目次

Ⅲ 個々の経営管理について

一 人事労務関係

- (一) 新入社員教育のあり方について
- (二) 就職斡旋について
- (三) 技校、セールスマンスクールの教育について
- (四) 特殊職場における待遇の弾力的運用について
- (五) 期中各部門毎に開催する工場長会議の調整について
- (六) 賃上げ対策について
- (七) 給与諸制度の完全職務給化推進を検討すべきことについて
- (八) 当社の長期人員対策を検討、確立すべきことについて
- (九) 適正必要人員の実態把握並びに工場労働力不足の対応策について
- (一〇) 労務政策を転換すべきことについて

二 総務、財務、事業管理関係

⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
14	14	13	12	10	9	8	8	6	4	3	3	3	3

(一) 定款変更案について	15
(二) 物流管理及び原料資材合理化特別委員会について	15
(三) 総選挙に関連する社外からの申出に対し窓口を一本化すべきことについて	16
(四) 細川銀芳閣の吸収合併について	17
(五) 資金対策の事前準備について	17
(六) 「接待費内規」について	17
三 宣伝、商務関係	18
(一) 全鐘紡宣伝委員会について	18
(二) 総合キャンペーン委員会を設置すべきことについて	20
(三) 総合商社対策について	23
(四) 不織布に関する調査等について	27
(五) 第四回総合ショウについて	27
四 国際事業関係	29
(一) ソ連内見会について	29
(二) 海外プロジェクトの取扱いルールについて	30
(三) 海外出張者の身分について	31
(四) 海外駐在員の活動報告について	33

(五) 海外出張報告等の情報を整理すべきことについて	…	35
(六) 海外取引関係先からの主要な来訪者に対し適宜生きた情報と真剣な意見交換の場をつくるべきことについて	…	35
(七) 国際事業室新設について	…	36
(八) 内外のプロジェクト及び関連諸情報を商務室並びに国際事業室に集約すべきことについて	…	37
五 技術・研究関係	…	38
(一) 水平発明より垂直発明の重視について	…	38
(二) 技術者の特性並びに品質に関する技術的視点について	…	39
(三) 技術者のあり方について（技術部長会議に関連して）	…	40
(四) 施設部門の基本的任務について（施設課長会議に関連して）	…	40
(五) 作業安全教育の徹底について	…	43
(六) 中央研究所に動物実験室を設置すべきことについて	…	44
(七) 商標管理に万全を期すべきことについて	…	45
六 繊維部門	…	47
(一) 社長ブラジル訪問について	…	47
(二) 繊維部門の先進国への進出について	…	62
(三) 繊維部門の販売及び生産組織変更について	…	63

(四)	繊維関係部門（含子会社）の連携強化について	65
(五)	市況変動に一喜一憂することなく既定のファッション化路線を追求すべきことについて	65
(六)	短繊維第一総部主要投資成果報告について	66
(七)	社長の西大寺工場視察について	71
(八)	淀川工場見学ステージ設置について	73
(九)	綿スフエステル部門の低収益性を打破すべきことについて	75
(一〇)	出雲工場並びに名古屋工場発足式及び化粧品山陰販社社長視察報告について	77
(一一)	短繊維第二総部主要投資成果報告について	77
(一二)	社長の香港、台湾視察について	80
(一三)	短繊維第三総部主要投資成果報告について	89
(一四)	絹糸糸の特性を生かした商品企画の重要性等について	90
(一五)	短繊維第三総部の着尺商品発売企画について	91
(一六)	化繊部門新製品紹介について	91
(一七)	合繊部門業績不振に対し技術を重要視すべきことについて	92
(一八)	当社合繊の基本方針について	96
(一九)	東南アジア諸国の合繊自給化について	97
(二〇)	当社ポリエステル部門における経営上の問題点について	97

(二一)	合織部門は生産子会社を含めた業績向上を目指すべきことについて	100
(二二)	長繊維部門主要投資成果報告について	101
(二三)	ナイロン部門人員対策について	105
(二四)	北陸産元に対する化粧品拡販について	106
(二五)	長繊維第二総部人員対策について	107
(二六)	北陸合織工場開場式について	108
(二七)	北陸合織工場社長視察の際の新聞記者会見要旨について	110
(二八)	合織生産設備体制の整備について	110
(二九)	素材段階における利益追求並びにそのための技術開発の重要性について	111
(三〇)	長浜工場の見学禁止について	111
(三一)	ファッション総部主要投資成果報告について	112
(三二)	C D社デポア氏と伊藤社長の会談について	112
(三三)	C D製品の並行輸入問題とその対策について	114
(三四)	ファッション化の三方向について	115
(三五)	ベルエコー(株)設立について	116
七 化粧品部門		
(一)	化粧品部門主要投資成果報告について	118

(二)	化粧品部門の商品企画体系について	119
(三)	チェーン店全国表彰式について	123
(四)	化粧品販売優良従業員表彰式について	125
(五)	化粧品販売四十七年度下期支配人会議について	129
(六)	化粧品部門四十七年度特別社長賞授賞式並びに四十八年度上期支配人会議について	133
(七)	香川販社の健闘に関連して第一線従業員の労苦に酬いる経営者の心構えについて	135
(八)	福井販社視察について	136
(九)	四月二十九日、石川販社及びハリス出張所が全員出勤していたこと等について	138
(一〇)	広島及び岡山販社視察について	139
(一一)	沖縄におけるファッションショー開催について	143
(一二)	化粧品部門73年カレンダーのコンクール第一席入賞について	145
(一三)	ダンディマークⅢについて	145
(一四)	コルゲート社からの提携申入れについて	146
八	薬品部門	146
(一)	薬品販売第一回支店長会議に関連して	146
(二)	薬品部門に対する指示事項について	147
(三)	薬品販売ルート変更に対する問屋からの抗議について	148

(二二)	組織人として倫理観、義務感をもって行動することの重要性について	187
(二四)	食品部門の全社的協力依頼事項について	188
(二五)	食品部門における新体制後の経緯並びに今後の経営展開等について	189
(二六)	日清食品との提携について	193
(二七)	食品部門の四十八年二月度業績について	194
(二八)	都島工場視察における社長指示事項等について	194
(二九)	つねに明確な目的意識と経営上の当為を徹底追求すべきことについて(都島工場視察に関連して)	195
(二〇)	食品販社の小売店対策等について	200
十 住宅環境部門		
(一)	合成化学部門主要投資成果報告について	201
(二)	(株)鐘紡三信エンバイロメント設立について	202
十一 関係会社		
(一)	関係会社四十五、四十六年度実績及び四十七年度計画について	203
(二)	当社を頼り傘下に入って来た子会社の育成について	205
(三)	日本エステル(株)について	206
(四)	カネボウ繊維品(株)及びカネボウシルク(株)について	209

IV

(五) K T S Mについて
一般所見および指示

一 国際通貨問題について

- (一) 円再切り上げ問題と国際金融問題懇談会における審議について
 - (二) ポンド不安について
 - (三) ポンドの変動相場移行と日本の国際通貨対策について
 - (四) 円再切り上げ問題について
 - (五) 円再切り上げ後、逆に切り下げを必要とするような事態発生の可能性について
 - (六) 円再切り上げに関する事前動向について
 - (七) 円再切り上げとインフレ問題について（金曜会）における佐々木日銀総裁との会合に関連して）
 - (八) 円再切り上げの見通しについて
- 二 中国及びアジア諸国との関係について
- (一) 中国問題に対する当社の態度について
 - (二) 日中国交回復問題について
 - (三) 対中国取引について
 - (四) 十一月十五日号「財界」誌に掲載された社長執筆の対中国関連記事について

： 235
： 234
： 232
： 231
： 231
： 229
： 227
： 226
： 225
： 224
： 222
： 221
： 220
： 220
： 220
： 216

(五)	東南アジア委員会設置並びに南米委員会の答申について	240
(六)	東南アジアにおける華僑の動向を重視すべきことについて	240
(七)	ベトナム戦争終結後の国際経済情勢について	242
(八)	ベトナムに対する当社のとるべき姿勢について	244
(九)	長期的観点に立った対インド関係の重要性について	246
三	一般経済情勢等について	247
(一)	「日本列島改造論」と機械移設の考え方について	247
(二)	「日本列島改造論」と工場疎開の問題について	248
(三)	経済調査研究会第一次報告「世界経済の展望と日本経済の将来」について	250
(四)	佐々木日銀総裁に対する代表質問について	251
(五)	今後の経済情勢等について	252
(六)	資源問題について	254
四	組織運営について	255
(一)	スタッフ部門の業務遂行について	255
(二)	各組織の実態に即した経営方針の浸透、展開について	255
(三)	経営方針の具体化に際し、ラインの各段階に応じた具体的目標を設定すべきことについて	256
(四)	組織の核となる人材を育成すべきことについて	257

(五)	部門間の相互連絡について	258
(六)	人事配置上の留意点並びに部門間の Monroe 主義を打破すべきことについて	259
(七)	目的意識の明確化及び手段の弾力的選択の重要性について	260
(八)	英文科専攻女子社員の活用について	262
(九)	四十八年より毎水曜日は六時半までに退出すべきことについて	262
五 社内教育問題について		
(一)	格式ある会社幹部のマナーについて	264
(二)	各組織で実施する教育について	265
(三)	新入社員の教育に関する留意事項について	267
(四)	部下のビジネスに適した言葉使い、態度等を的確に指導すべきことについて	268
(五)	従業員に対し伝統ある企業にふさわしい言葉使い、身嗜み等を指導すべきことについて	270
(六)	社格を高からしめるべきこと並びに真の愛情をもって社員の躰教育を徹底すべきことについて	273
(七)	風格ある社員を育てるべきことについて	275
(八)	朝礼訓話の奨励について	277
(九)	諸報告の書式遵守を徹底すべきことについて	277
(一〇)	或る高卒従業員の中途退社に関連して	281

(一)	仕事の与え方と女子社員の退社問題について	283
六	社外要人との会談所見等について	285
(一)	社外要人との会談に関連する所見について	285
(二)	東レ藤吉社長との懇談について	286
(三)	松下幸之助氏との懇談について	286
(四)	トヨタ自動車工業豊田社長との懇談について	287
(五)	木川田一隆氏との対談について	288
(六)	大平外相との懇談会について	288
(七)	ユニチカ小幡社長との会談について	290
(八)	日銀総裁に対する繊維業界を代表しての所信表明について	290
(九)	国際金融問題懇談会について	291
(一〇)	国際金融問題懇談会委員の留任要請について	292
(一一)	旧在华鐘紡従業員であった中国三氏との会見について	293
七	健康管理について	293
(一)	宮村専務の交通事故について	294
(二)	従業員の精神衛生管理に関し事前の対策を講ずべきことについて	295
(三)	田中新次郎氏急逝について	295

八 一般所見及び指示

- (一) 鐘淵化学への社会的非難に対し当社のとるべき基本的姿勢について
- (二) 沖縄海洋博について
- (三) 中国博について
- (四) 「世界の染織展」に関連し形式的招待状の禁止について
- (五) 過剰包装について
- (六) ユダヤ人の特質について
- (七) 「坂の上の雲」読後感について
- (八) 松下幸之助著「商売心得帖」について
- (九) 年末年始関連指示事項
- (一〇) 鐘友会関東支部例会について

推薦図書

あとがき

∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	
307	306	305	304	303	300	299	299	299	298	296	296